

2015 年 8 月 27 日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション**サブシー関連の EPCI 遂行会社「EMAS Chiyoda Subsea」社設立に向けた
シンガポール・Ezra 社との基本合意について**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市 代表取締役社長:澁谷 省吾)と Ezra Holdings Limited (本社:シンガポール、以下、「Ezra 社」)は、海中・海底(サブシー)関連の設計・調達・建設・据付 (EPCI)業務を遂行する“EMAS Chiyoda Subsea”(以下、「ECS 社」)を運営していくこととして、このたび基本合意に至りましたので、お知らせいたします。

Ezra 社は傘下の EMAS AMC が有するサブシー関連工事専用の特殊船舶を運用し、メキシコ湾、アフリカ、アジア等グローバルにサブシー関連事業を展開しており、今後この EMAS AMC を母体に ECS 社を設立。当社は ECS 社の株式取得と第三者割当増資の引き受けにより 50%出資の持分法適用関連会社としてゆきます。ECS 社は EMAS AMC の事業を継承して事業を開始・展開させることとなります。

当社は 2013 年に策定した中期経営計画の中で、オフショア・アップストリーム事業を成長戦略の1つと位置付け、英国の海洋分野等のコンサル会社 Xodus グループとの資本提携、サブシー関連の基本設計等を行う Xodus Subsea 社の設立等、遂行力強化に向けて着々と施策を実行して参りました。このたびの ECS 社への参画により、当社はサブシー分野の開発・設計フェーズから EPCI フェーズ、さらにはオペレーションフェーズまでの資源開発バリューチェーンの全てのフェーズを遂行できる体制が整うこととなります。

一方で ECS 社においては、同社の培ってきた実績に加えて、千代田・Xodus グループのコンサルティング・設計能力、当社のメジャーを中心とする顧客ネットワークや機器資材の調達力を含む大型プロジェクトの遂行能力を活用することによって、同社の事業を拡大させることを目指して取り組んでいきます。

四方を海に囲まれるわが国の領海内に豊富に埋蔵されている資源を有効活用すべく、政府も「海洋基本計画」の中で日本企業の海洋プラント分野への進出が急務と位置付けております。当社の ECS 社への参画は、日本のエンジニアリング会社として初めてのサブシー関連の EPCI への参入であり、日本独自のエネルギーセキュリティ確保に貢献できるよう挑戦してまいります。

以上

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 赤松 勝
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962
URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

平成27年8月27日

各 位

会 社 名 千代田化工建設 株式会社
代表者名 代表取締役社長 澁谷 省吾
(コード番号 6366 東証第1部)
問合先責任者 IR・広報・CSRセクション
SL 中山 直行
(TEL 045-225-7734)

海中・海底(サブシー)関連事業を営む外国会社の株式の取得及び
第三者割当増資引き受け(持分法適用関連会社化)に関する基本合意のお知らせ

当社は本日、Ezra Holdings Limited(本社シンガポール、以下「Ezra 社」)が設立を予定しているサブシー関連事業を営む新会社(EMAS Chiyoda Subsea(仮称、本社イギリス予定、以下「ECS 社」)の株式取得及び第三者割当増資の引き受けにより、ECS 社を当社の持分法適用関連会社化することについて Ezra 社との間で基本合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社は、サブシー関連の設計・調達・建設・据付(EPCI)業務に参入する為、シンガポール証券取引所上場企業の Ezra 社が設立する新会社(ECS 社)の株式取得、及び ECS 社の第三者割当増資を引き受ける事について、Ezra 社と基本合意致しました。

上記株式取得及び第三者割当増資引き受けは、平成 27 年 12 月 31 日付けで実行することを予定しており、これにより当社は ECS 社の株式を 50.0%取得する事となり、当社の持分法適用関連会社となる予定です。

2. 異動する持分法適用関連会社の概要(※1)

(1) 名称	EMAS Chiyoda Subsea(仮称)	
(2) 所在地	United Kingdom	
(3) 代表者の役職・氏名	Lee Chye Tek Lionel (Chairman and CEO)	
(4) 事業内容	サブシー関連の設計・調達・建設・据付(EPCI)業務	
(5) 資本金	未定	
(6) 設立	2015年12月31日(予定)	
(7) 大株主及び持株比率	Ezra 100.0%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。
(9) 当該会社の最近2年間の経営成績及び財政状態	当該会社は設立予定の為、経営成績はございません。参考の為、2014年度のEzra社のサブシー関連の事業部門の経営成績及び財政状態としては、総資産は1,711百万米ドル、売上高は1,045百万米ドルとなっております。	

3. 株式取得の相手先(Ezra社)の概要

(1) 名称	Ezra Holdings Limited	
(2) 所在地	15 Hoe Chiang Road, #28-01 Tower Fifteen, Singapore	
(3) 代表者の役職・氏名	Lee Chye Tek Lionel (Group CEO and Managing Director)	
(4) 事業内容	石油・ガス開発向けの傭船事業、並びに設備組立事業等	
(5) 資本金	490.0百万米ドル	
(6) 設立年月日	1992年	
(7) 純資産	1,185.8百万米ドル (2014年8月期)	
(8) 総資産	3,363.0百万米ドル (2014年8月期)	
(9) 大株主及び持株比率(※2)	Lee Chye Tek Lionel 23.19%	
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数:0 個) (議決権所有割合:0.0%)
(2) 譲受けによる取得株式数	未定(※3)
(3) 第三者割当増資引受けによる取得株式数	未定(※3)
(4) 取得価額	譲受けによる取得価額: 150.0 百万米ドル(※4) (18,000 百万円)(※5) 第三者割当増資引受けによる取得価額: 30.0 百万米ドル(※4) (3,600 百万円)(※5)
(5) 異動後の所有株式数	未定(※3) (議決権所有割合:50.0%)

5. 日程

(1) 基本合意日	平成 27 年 8 月 27 日
(2) 株式譲渡契約及び第三者割当引受契約締結日	平成 27 年 9 月 30 日(予定)
(3) 株式譲渡及び第三者割当引受実行日	平成 27 年 12 月 31 日(予定)

6. 今後の見通し

当株式取得による平成 28 年 3 月期の当社連結業績への影響については、軽微であります。来期以降の数値については、適宜開示いたします。

(※1) Ezra 社がサブシー関連業務を行う事業部門を別会社化し、新会社 ECS 社を設立します。その後、当社は、平成 27 年 12 月 31 日付(予定)で ECS 社の発行済株式を取得、並びに同社が実施する第三者割当増資を引き受ける事になります。本項に記載の内容は、当社による株式取得・第三者割当増資引き受け前に、Ezra 社によって設立される新会社のものを指します。

(※2) 持株比率は Ezra 社が保有する自己株式を含めずに計算しております。

(※3) 株式譲渡契約及び第三者割当引受契約において ECS 社株式の 50%を取得することを合意しております。

(※4) 今後締結予定の最終契約書の定めに従い、当該価額は調整される可能性があります。

(※5) EMAS Chiyoda Subsea 株式の取得価額を円貨表記する際は 1 米ドル=120 円にて計算しております。

以 上